

平成29年度

第2回中央区環境行動計画推進委員会

日 時 平成29年8月29日(火) 14:00～15:50

場 所 中央区立環境情報センター研修室

【議事概要】

(議題) 中央区環境行動計画の改定について

資料1：(仮称) 中央区環境行動計画2018目次案

資料2：第1章 計画の基本的な考え方(案)

資料3：第2章 現状と課題(案)

資料4：第3章 環境像と基本目標(案)

資料5：第4章 基本目標実現のための施策(案)(骨子)

資料6：第5章 計画の進行管理(案)

※資料1から資料3について

●委員

資料2・第1章について

和暦と西暦の表記が混在している。他の章も含めて統一すべきである。

資料3・第2章 12ページ ⑤学びと行動の輪について

環境に関する意識調査では、結果だけではなく、分析に関する記述も必要である。

資料3・第2章 13ページ 現行計画の評価について

目標に到達していない事業は、その理由を記述する必要がある。

●委員

資料2・第1章 1ページ 計画策定の背景と目的について

①区の特徴である水辺に関する記述が必要である。

②目的が不明確である。例えば、「総合的な環境施策を推進するため」などの記述が必要である

資料2・第1章 1～2ページ 計画の役割と計画の位置づけについて

一つにまとめ、「計画の位置づけと役割」にしても、内容的に問題ないと思う。

●委員

資料2・第1章 1ページ 計画策定の背景と目的について

①地球温暖化に関する記述が大部分を占めており、バランスのとれた内容にしてほしい。何か世界的な動向を加えてみたらどうか。

②単に計画期間満了による改定とあるが、現行計画での課題を踏まえ、新たな計画を策定するという記述にするべきである。

●委員

先日の新聞では、区内の街路樹を伐採したという記事があったが、緑化を推進する一方で、このようなことがあると、とても矛盾を感じる。

区は、地域の人たちが納得できる説明を行うなど、きちんとした対応を行ってほしい。

●区

無電柱化・歩道拡幅の工事を行い、新たに植樹帯を増やしていく計画がある。

地域の人たちの理解が得られるよう、より丁寧な説明に努めていく。

●委員

資料3・第2章 13ページ 現行計画の評価について

計画事業の取組状況（表）の中には、策定当時の数値（現況）を入れるべきである。

●委員

資料3・第2章 4ページ 環境に関する動向について

すでに新たな基本目標ごとで分類されており、不自然さを感じる。例えば、「エネルギー消費」「ごみ・資源」などのような区分を検討してほしい。

●委員

資料2・第1章 1ページ 計画策定の背景と目的について

環境省が第五次環境基本計画の中間取りまとめを公表しているが、その辺の記述も加えたらと思う。

資料3・第2章 5ページ エネルギー消費量の円グラフについて

民生業務部門における消費量をどのように削減していくかが大きな課題である。そのためには、どんな対策が必要かをしっかりと記述するべきである。

●委員

資料2・第1章 1ページ 計画策定の背景と目的について

世界的な動向は、SDGs（持続可能な開発目標）やサーキュラー・エコノミー（循環型経済）に関する記述を加えたらと思う。

●委員

資料2・第1章 2ページ 計画の位置づけについて

①現行計画と各計画との関係を示す矢印の方向（上下や下向）が混在しているので、再度確認してほしい。また、矢印を補足説明する表現を考えてほしい。

②「基本構想」と「基本計画」との関係は、説明文では、環境施策の側面から補完する、イメージ図では、基本計画における施策を補完とあるが、微妙に意味合いが異なってくるので、表現を統一してほしい。

資料3・第2章 2ページ 人口・世帯数について

「今後10年間の年齢区分別人口」の表は、グラフ化するなど、わかりやすい見せ方にしたほうがよい。

資料3・第2章 3ページ 事業所数について

基本構想を参考に地域の産業特性などを追加してほしい。

資料3・第2章 3ページ 土地利用について

本区における宅土地利用比率の特性（商業用地が多い）を踏まえた記述にしたほうがよい。

資料3・第2章 6ページ 各駅の乗降人員について

他のデータとの関連性が見えず、違和感がある。

資料3・第2章 6ページ ごみ収集量について

事業系ごみが多くを占める現状、飲食店における食品廃棄物の問題などの記述を追加すべきである。

資料3・第2章 8ページ 自然共生社会について

水辺環境の整備に関するデータを追加すべきである。

資料3・第2章 12ページ ⑤学びと行動の輪について

①環境情報センターの開設に関する記述を入れるべきである。

②環境に関する意識調査は、過去の調査との比較を行い、意識の変化を把握すべきである。

資料3・第2章 19ページ ⑥推進体制について

条例制定に関する検討の経緯や PDCA サイクルによる適切に進捗管理を行っていくという記述を追加する必要がある。

資料3・第2章 20ページ ②循環型社会について

外国人のごみの出し方にどう対応していくかの記述を入れてほしい。

●委員

資料3・第2章 4ページ エネルギー消費量の棒グラフについて

①民生家庭部門における増加は、その要因となる背景（区の施策による人口回復）もしっかり記述すべきである。区民が何も取り組んでいないというマイナスの印象を与えかねない。

②総量では増加傾向にあっても、世帯数による原単位で分析してみると、何か違った傾向が見えるかもしれない。

資料3・第2章 5ページ エネルギー消費量の円グラフについて

民生業務部門における消費量が多いのは、事業所が集積しているという地域特性もあり、そうした背景も分析したほうがよい。

※資料4から資料6について

●委員

現行計画の期間終了（平成30年3月）後の評価に関する記述はしないのか。

●区

特に記述はしていない。

●委員

現行計画の全体評価と課題を踏まえて、新計画を進めていくべきであるから、しっかりと記述してほしい。

●区

検討する。

●委員

新計画の評価はどのように行うのか。

●区

新計画の評価方法は、平成31年度に行うことから、次年度の委員会の中で検討していきたい。

●委員

資料4・第3章 6ページ 指標について

「具体的な数値目標を設定せず」とあるが、必要に応じて検討していくのであれば、その旨記述しないほうがよい。本計画では設定しても問題ないのではないか。

●区

現在策定中の「基本計画」においても、数値目標は設定しないので、整合性を図る必要がある。

●委員

方向性には、「増加」「減少」「推進」などがあるが、どんな使い分けか。

●区

指標名の欄に数量、回数、割合とあるのは、「増加」「減少」としている。

事業の名称が記載されている場合は、「推進」としている。

なお、それぞれの欄には、事業の進捗を示すため、現状値を載せてある。

●委員

資料4・第3章 1ページ 望ましい環境像について

「水とみどりに満ちあふれた」との記述があるが、地方都市ならまだしも、本区のような都心区に相応しい表現なのかは疑問である。本区の地域特性を踏まえ、どのように表現するか検討してほしい。

●委員

資料4・第3章 4ページ 基本目標3・自然共生社会について

本区を訪れた人々が快適さや涼しさを感じるような、水とみどりのネットワークを形成するだけでなく、広く普及させていってほしい。

●委員

区外の人たちにも発信していけるよう、水辺の魅力を高めていくような記述を検討してほしい。

●委員

資料4・第3章 3ページ 基本目標2・循環型社会について

他の目標と比較すると、具体的な事業の記述があるので、バランスをとってほしい。

●委員

資料4・第3章 2ページ 基本目標のイメージ図について

基本目標5・学びと行動の輪は、横断的な内容なので、他の4つの目標に関連するようなイメージにしてほしい。

●委員

資料4・第3章 施策体系図について

①導入部分として、資料5（第4章）の冒頭に持ってきたほうがよい。

②各目標の施策は、重要なものから並べるよう、工夫してほしい。例えば、基本目標4 安全安心な社会での「環境美化の推進」は、一番下でもいいと思う。

資料1 目次・第6章 資料編 について

①「第6章」とせず、単なる「資料編」でいいと思う。

②資料には、環境用語集は載せるのか。

●区

載せる予定である。

以上